

軍需金融等特別措置法案外四件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

軍需金融等特別措置法案(政府提出)
(第四號)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
(第五號)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
(第六號)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
(第七號)

生命保險中央會法案(政府提出)
(第八號)

損害保險中央會法案(政府提出)
(第九號)

昭和二十年一月二十五日(木曜日)午後一時二十四分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 久山 知之君
理事 池本基四郎君 理事 九鬼 紋七君
理事 佐藤 芳男君

赤間 德壽君 一宮房治郎君
大倉 三郎君 長内 健榮君
加藤 弘造君 田中 亮一君
高島龜太郎君 中野半左衛門君
中原 謹司君 廣野規矩太郎君
深澤 吉平君 深水 吉毅君
星 一君 松本治一郎君
宮崎 一君 由谷 義治君
渡邊善十郎君

出席國務大臣左ノ如シ
大藏大臣 石渡莊太郎君
出席政府委員左ノ如シ
大藏政務次官 小笠原三九郎君

大藏參事官 田村 秀吉君
大藏省總務局長 山際 正道君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省銀行保險局長 迫水 久常君
大藏書記官 松尾 俊次君

大藏省書記官 松尾 俊次君

大藏省書記官 松尾 俊次君

大藏省書記官 松尾 俊次君

大藏省書記官 松尾 俊次君

大藏書記官 吉村 成一君
大藏書記官 福田 越夫君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍需金融等特別措置法案(政府提出)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

生命保險中央會法案(政府提出)
損害保險中央會法案(政府提出)

○久山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、
段々質疑ノ通告ガアリマスカラ、申込
ミノ順ニ依リマシテ逐次之ヲ許可致シ
マス、尙ホ大藏大臣ハ他ノ委員會ノ關
係モアリマスノデ、此ノ委員會ニ約一
時間御出席ノ御豫定デアリマス、隨テ
成ベク大臣ニ對スル御質疑ハ御譲リ合
ハセテ願フツ、出來ルダケ進行シタイ
ト思ヒマス。 宮崎一君

○宮崎委員 他ノ委員ノ方カラモ御希
望ガアリマスノデ、御提出ニ相成リマ
シタ法案ノ大體ノ概念ヲモウ少シ伺ヒ
タイト云フ積リデ、質疑ト云フノハ適
當デナイカモ知レマセウガ、御説明ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス、先ヅ第一
ニハ軍需金融等特別措置法デアリマス
ルガ、其ノ中ノ第一條「金融機關ノ範
圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノデア
リマスガ、此ノ勅令案ノ大體ノ要綱ガ御
分リデシタラ御伺ヒ致シタイト思ヒマ
ス。

○迫水政府委員 ソレハ昨日御要求ニ
ナリマシタ勅令要綱ノ勅令ニ記載スベ
キ資料ニ依ツテ後程差上ゲタイト思ヒ
マス、今印刷シテ居リマス、大體申上
ス。

○宮崎委員 其ノ次ニ第三條デゴザイ
マスガ「事業者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス
コトヲ得ズ」ト云フハ事業者ニ便利ヲ
與ヘ、資金ノ金融ヲ圓滿ニスルト言ツ
テ置キナガラ、特ニ斯ウ云フコトヲ言
ハネバナラヌノハナゼカ、他カラ融通
ヲ受ケテハナラヌト云フ、其ノ主ナル
理由ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○迫水政府委員 此ノ第三條ハ只今實
行シテ居リマス軍需融資ノ指定金融機
關ト略、同ジコトヲ考ヘテ居ルモノデ
ゴザイマス、即チ一ツノ事業者ニ對シ
マスル金融ヲ營ミマス者ヲ統一シタイ
ト云フ考ヘ方デアリマス、統一スルコ
トニ依リマシテ其ノ金融機關ハ其ノ事
業ノ經理内容ヲ極メテ能ク知ツテ居リ
マス關係デ、其ノ次ノ第四條ニ掲ゲテ
アリマスヤウニ、「必要ナル資金ヲ簡易適
時ニ且當該事業者ノ資金ノ使用ヲ効率
的ナラシムル配置ノ下ニ融通スベシ」ト
云フコトガ出來ルヤウニナルノデアリ
マシテ、幾ツカノ澤山ノ金融機關ガ競
合シテ居リマス、其ノ間資金ガ無駄
ニ出テ行クト云フコトモゴザイマスノ
デ、金融機關ヲ一ツニ統一スルト云フ
考ヘ方デ斯ウ云フ風ニ決メタノデアリ
マス。

○宮崎委員 第五條ニ觸レルノデアリ
マスガ、「軍需金融機關ハ擔當事業者ヨ
リ資金ノ融通ノ申込ヲ受ケタル場合ニ
於テ之ニ應ジ難シト認ムルトキハ」ト

アツテ、此ノ應ジ難シトカ應ズルトカ
云フコトヲ、金融機關ガヤル、從來ト
違ツテ空襲ガ頻繁デアルト、或ハ急ニ
工場ヲ移サナケレバナラヌト云フ重大
ナコトモアルト思ヒマスガ、サウ云フ
コトヲ金融機關自體ノ判斷ニ依ツテヤ
ル、ソシテ後デ政府ニ申出ルト、政府
ノ判斷デ又スルト云フコトニナルト思
ヒマスガ、斯カル重大ナコトヲ、當業
者ノ本當ニ經驗ノアル航空機製作者ナ
ドニ對シテモヤルノデアリマセウガ、
之ニ類スル從來ノ例ヲ見マス、マル
デ素人ノ查察者ガ參リマシテ、コンナ
立派ナ工場ヲ建テテハイカサデヤナイ
カト言ツタガ、今ニナツテ見マス、
ハア宜カツタ、是デ以テ日本ノ發動機
ガ幾ラカシツカリヤツテ行ケルト云フ
ヤウナコトガ、最近デモゴザイマス
ガ、斯ウ云フ風ナ重大ナ、急ヲ要シ
場合、此ノ判斷ニ付テ、資金ヲ融通シ
テ宜イカドウカト云フコトヲ金融機關
ガ判斷スルト云フコトハ非常ニ危險
ガアルト思フガ、其ノ點ニ對スル大藏
大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイ

○石渡國務大臣 資金ノ融通ノ申込ヲ
受ケマシタ場合ニ、其ノ金融機關ニ金
ガナイ、金ハモウ自分ノ所ハ一杯デ何
トモ御貸シ致シ難イト云フ場合モアルカ
ト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニ於
キマシテハ直グニ政府ニ申出ル、サウ
シタナラバ政府ハ適當ニ資金ノ融通ニ
關シテ直グニ應急ノ措置ヲ執ツテヤル、
斯ウ云フコトニシタイト思フノデアリ
マス、金ガナイ場合モゴザイマセウシ、
其ノ他自分デソレダケノ金ヲ負擔スル

コトガ出來ナイ、斯ウ云フ場合モアルカ
ト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ
ハ直グニ政府ニ言ツテ來イ、政府ハ其
ノ資金ニ付テ心配シテヤル、斯ウ云フ
コトデアリマス。

○宮崎委員 御説明デ能ク分リマシタ
ガ、此ノ資金ノ融通ヲ申出タ場合ニ應
ジ難シト云フコトハ、資金ガナイト云
フ場合デケニ限ルノデスカ、此ノ資金
ヲ融通スルコトガ至當ナリヤ否ヤト云
フコトノ判斷ヲスルノデハゴザイマセ
ヌノデスカ。

○石渡國務大臣 金ノナイ場合モ無論
含ミマス、又斯クノ如キ大キサノ金ヲ
自分ノ所デハ到底引受ケ難ナル、斯ウ云
フ場合モ含ムカト思フノデアリマス。

○宮崎委員 可ナリ重大ナコトガ起ル
カト思ヒマス、只今ノ金ノナイト云フ
場合ナラバ御尤モデスカ、例ヘバ疎開
ヤスルニ付テ非常ナ安全ナ山ガアル、
空爆モ出來ナイ其ノ地帯ヲ發見シテ疎
開ヤル、斯ウ云フ風ナ場合ニ可ナリ
多クノ金ガ掛ル、其ノ場合ニソソナコ
トハ必要ガナイノデヤナイカト云フ
ヤウナ判斷マデ其ノ資金ヲ融通スル機
關ガ出來ルデセウカ、ソレハ出來ナイ
デセウ、其ノ場所ガ適當デアルカドウ
カ、サウ云フコトマデ判斷サレテハ敵
ハヌト思フノデスカ、其ノ點ヲ伺ツテ
置キタイ

○石渡國務大臣 ソレハ金融機關ガ此
處ニ移轉シテ宜イカドウカ、左様ナ判
斷ヲ下ス權限ハ持ツテ居リマセウ、併シ
ソレハ政府ガ資料其ノ他事務等ノ關係
ヲ十分ニ睨ミ合セマシテ、此ノ工場ハ

コツチニ移轉スベシ、斯ウ云フコトハ是ハ政府ノ致スベキコトデアルト存ジマス、其ノ場合ニ、ソレデハ資金ヲオ前ノ方カラ呉レト云フ場合ニ、自分ノ方ニハ資金ハアリマセヌ、斯ウ云フ時ニハ政府ニ其ノ金ノ措置ヲ言ツテ來イ、斯ウ云フコトニ相成ルカト思ヒマス

○宮崎委員 此ノ法案ニ對スル私ノ考ヘ方ハ、洵ニ結構ナ法案デスガ、唯斯ウ云フ危險ヲ感ズルノデアリマス、是ハ幾分強ク所謂信用貸デ以テ航空機生産ノ資金ヲ貸付ケテ、ドン／＼作レト云フノデ、御作リニナツタ法案ト存ジ、其ノ點洵ニ結構デスガ、何カ之ニ依ツテ金融機關ガ會社ノ非常ニ忙シイ仕事ヲ制限スル、或ハ一ツノ監督ヲスルト云フヤウナコトヲオセリニナルノデハナイカト云フ危險ヲ感ズルノデ只今御質問シタノデアリマスガ、サウデナイコトノヤウニ只今ノ御説明ヲ承ツテ宜シイカト存ジマスガ、左様ニ承ツテ宜シウゴザイマス

○石渡國務大臣 此ノ法律ハ二ツノ目的ヲ持ツテ居リマスコトハ第一條ヲ御覽下サレバ能ク御分リダト思フノデスガ、軍需金融、主トシテ軍需金融デアリマスガ、其ノ圓滑適正ヲ圖ルト云フコトガ一ツ、ソレカラ資金ノ效率ノ利用ヲ促進スルト云フコトガ一ツ、此ノ二ツノ目的ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ一面ニ於キマシテハ金融ノ圓滑適正ヲ圖リマス共ニ、一方ニ於テ其ノ濫費ニ屬スル方面ニ對シマシテハ相當ノ制限——制限ト云フテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、相當ナ抑制作用ヲシテ行キタイト云フコトガ此ノ法律ノ目的デアリマス、銀行ハ金ヲ貸スノデアリマシテ、左様ナ作用ハ是ハ一二大藏省ノ意圖ニ依ツテヤル、サウシ

テ其ノ資金ノ効率化ヲ圖ル、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデアリマス

○宮崎委員 次ニ臨時資金調整法中改正案ニ付テ一、二點御説明ヲ承ツテ置キタイ、同法ノ第十條ノ十二、詰リ富籤ニ關スル政府ノ大體ノ計畫、現在御持チニナツテ居ル計畫ノ大要ヲ承リタイと思ヒマス、是ハ今日非常ニ危急苛烈ナル戰局デゴザイマスノデ、洵ニ斯ウ云フコトモ已ムヲ得ナイコトダト思ヒマスガ、半面カラ申セバ所謂射倖心ノ問題等モアリマスガ、ソレヲサウ云フコトヲ考慮スルコトハ出來ナイノダ、ドウシテモ資金ノ吸收上、浮動購買力ヲサウ云フ方面カラモ吸收セネバナラヌト云フコトハ、今日ノ事情洵ニ已ムヲ得ナイコトハ十分分ルノデアリマスガ、ソレニ付テ大體政府ガ今御考ヘニナツテ居ル計畫ヲ御話ヲ願ヒタイと思ヒマス

○石渡國務大臣 御承知ノ通り此ノ問題ハ中々考ヘヲ要スル問題デアル譯デアリマシテ、其ノ爲ニ支那事變ノ始マリマシタ年ヨリシテ論議ガアツタノデゴザイマスガ、今日マデ實行ヲ差控ヘテ居ツタ問題デアリマス、今日ノ段階ニ於キマシテ資金ノ流通高モ相當多額ニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ際此ノ富籤發行ヲシタラドウカト云フノデ、玆ニ改正法律案ヲ提出致シ次第デアリマス、只今政府デ考ヘテ居リマスコトハ四年四回、一億五千萬圓ツツ六億圓ノ發行ヲ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ半額約三億圓ハ國庫ノ收入ニ相成ル、ソレデハ三億圓弱ダト存ジマスガ、ソレニハ發行費用等モ拂戻シタイト思ツテ居ルノデアリマス、三億圓ノ收入ハ今日提出致シマシタ追

加豫算ニ計上致シテアリマス、此ノ富籤ノ一等ノ割増金ヲ幾ラニスルカ、割増金ト云フテハ語弊ガアリマス、當リ富籤デアリマス、其ノ當リ籤ヲ幾ラニスルカト云フコトニ付テハ、目下政府ノ内輪ニ於テ相談中デアリマスガ、私ハ先ヅ高々十萬圓デアアルト思ツテ居リマス、十萬圓以上ニハシタクナイト考ヘテ居リマス、ソレヲ全額現金デ拂フカ、或ハ半額或ハ七、八割マデ公債デ拂フカ、是モ一ツノ研究問題デアルト存ジマス、翼政會カラ出テ居リマス御意見ニハ八割ヲ公債デ拂ヘト云フコトガアルヤウデアリマス、或ハ左様ナコトモ一ツノ行キ方デアアルマイカト思ヒマシテ、左様ナ點ニ付キマシテ目下考究中デゴザイマス、此ノ富籤ニ依ル多クノ金ハ、私ハ中々集マリ兼ねルト思フノデアリマシテ、私ハ斯様ナ方面ニ依ツテ吸收致サレベキ金ハ比較的少イ金デアアルマイカト思ツテ居ルノデゴザイマス、少ウゴザイマシテモ、兎ニ角サウ云フ質ノ金ヲ、富籤ニ依ツテ集メル必要ガアルヤウニ思ヒマスノデ、之ヲ實行致スコトニ致シ次第デゴザイマス、割増金附定期預金ト云フモノモ、昨年六月カラ二回程ヤツテ見タノデアリマスガ、是ハ六月ニハ十億圓、十一月ニハ二十億圓集マリマシタ、定期預金ノ利率ヲ三分ニシマシテ、サウシテ普通ノ定期預金ノ三分三厘ノ其ノ三厘ヲ抽籤ニ充テマシテ、一等一萬圓ノ籤ニ致シタノデアリマス、是ガ昨年二回デ三十億圓集マツテ居ルノデアリマス、是ハヤハリ貯蓄ノ母體ニシマシテ、ソレニ富籤附ノ割増金ガ付イテ居ルノデアリマスカラ、是ハ左様ニ餘計ニ金ガ集マツテ居ルノデアリマスガ、純粹ノ富籤デハ、私ハ左様ニ金ガ集マル

カドウカ、可ナリ疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス、取敢ズ政府ノ計畫ト致シマシテハ、年四回一億五千萬圓程度ノモノヲ發行シタイト考ヘテ居リマス

○宮崎委員 御説明ノ大體ノコトハ分リマシタガ、斯ウ戰況ガ苛烈ニナツテ來タ時ニハ、斯様ナ方法デヤツタ方ガ、モット大キナ金ガ還ツテ來ル見込ガ立ッノデアリマスマイカ、即チ此ノ當籤金ニシテ十萬圓位ニ御決メニナルノハ少シ小サ過ギルノデハナイカ、モット大膽ニナサレバ可ナリ浮動購買力モ吸收出來ルト思ヒマスシ、又斯ウ云フコトデモシナイト間ニ合ハナイヤウニ考ヘル、現在ニ於テハ一月、半年後ニ可ナリ物價ノ昂騰モ甚ダシクナリマスカラ、若シ政府カラ放出サレル金ヲ回收スルト云フナラバ、モット大膽ニ當籤金ヲ多クシテ集メルト云フ方法ニ行クコトガ考ヘラレマセヌカ、モウ一ツハ、朝鮮邊リデヤツタ福券ハ、金ノ外ニ副賞ノヤウナモノヲ付ケテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フコトモ此ノ富籤ニ付テ考ヘラレルト思ヒマスカラ、副賞モ付ケテ此ノ富籤ニ非常ナ興味ヲ感ゼシムルヤウニ、サウ云フ點ヲモット刺戟スルヤウナ御考慮ヲ拂ハレナカッタノデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○石渡國務大臣 此ノ所謂富籤ニ餘リ多額ノ割増金ヲ付ケル、當リ籤ヲ付ケルノモドウカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、尙ホ關係筋トモ能ク相談致シテ見タイト思ツテ居リマス、私ハ寧ロ大キナ當リ籤ヲ少クスルヨリモ、少クテモ當リ籤ヲ餘計ニ付ケタ方ガ、永續キスルノデハナイカトモ考ヘラレルノデアリマス、百萬圓當リ積リデ買ツテ見タラ、何時マデ買ツテモ一ツモ當

ラナイト云フヨリハ、十萬圓デモ當ルト云フ方ガ、ヤハリ人ヲ惹ケル力ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、尙ホサウ云フ點ニ付キマシテハ、能ク考慮致シテ見タイト思フノデアリマス

○宮崎委員 今ノ副賞ノコトデアリマスガ、御説ノヤウナコトモ考ヘラレルト思ヒマス、現在ノ事實ハドウモ我々ノ實際生活ヲ無視スルト云フコトニナリマスガ、金ヨリモ物ト云フ氣持ガ非常ニゴザイマシテ、物々交換ト云フコトガ現實ニ行ハレテ居リマスガ、本當ニダブツク所ノ金ヲ吸收スルコトガ國家ノ爲ニ必要ナノダ、ドウシテモ普通ノ貯蓄デハ間ニ合ハナイ、斯ウシナケレバ間ニ合ハナイノダ、今ハ色々航空機其ノ他ノ武器モ造ラナケレバナラヌ、食糧モ作ラナケレバナラヌ、ソレト同

時ニ「インフレ」ヲ招來スル物價騰貴ト云フコトガ重大ナコトデアルト云フコトヲ考ヘタラ、中途半端ナ資金吸收デハナクテ、コ、マデ來タラモツト本當ニソコヲ覺悟シテヤラナケレバナラヌ、ソコ例ヘバ政府ノ御出シニナル煙草、朝日トカ光ノヤウナモノヲ副賞ニシテ、ヤルト云フ風ニシタナラバ、サウ弊害ハナイ、大藏省自體ガ直接關係サレルモノヲ副賞ニスルト云フ形デヤルナラバ、靴トカ何トカ云フモノヨリモ弊害ガナイヤウニモ考ヘラレマス、若シモ法律ニ關係ナク副賞ガ出來ルト云フナラバ、御考慮願フテ置キタイと思ヒマス、ドウモ僅カニ三億圓ノ國家收入ノ爲ニ此ノ富籤ヲヤルト云フコトハドウカト思フ、ソコマデ國家ガ覺悟シタラ、モツトウソツ金ノ集マルヤウニシナケレバ、ドツツツカズナコトニナリハシナイカト思フ、此ノ點申上デテ置キマス

ソレカラ次ハ同法ノ第十條ノ十三デアリマス、國民貯蓄増強策ノ圓滑ナル運轉ヲ圖ル爲メ都道府縣及ビ市町村ニ國民貯蓄運轉委員會ヲ置ク、是ハ洵ニ結構デアリマスガ、今ノ所國民貯蓄ノヤリ方ガ可ナリ所々——マア市ナラ市、字ナラ字、町會長ナラ町會長ノ考ヘ方デ以テ不統一ニナツテ居ル、是ハ皆熱心ナ結果デアリマスケレドモ、可ナリ不統一ニナツテ居リマス、ドウモ基礎ガナクシテアソコハ此ノ位デ宜カラウト云フヤウナ、見立テ割ガ非常ニ多過ギル爲ニ困ルコトモアル、二重ニモ三重ニモナツテ居ル人ガアルカト思フト、大イニ闇デ生活シテ非常ニ贅澤シナガラ——是ハ近所カラ見ルト分ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ人ガ貯蓄シナイト云フヤウナコトモアル、

ソレカラ地主サントカ、大家サントカ、殆ド收入ガ固定サレテ居ルノニ、物ガアルデケデ非常ニ貯蓄シナケレバナラヌト云フノデ可ナリ苦シイコトガアリマスノデ、斯ウ云フ場合ニハ何カ國民貯蓄ノ一本ノ原則ガアレバ結構デゴザイマセウ、ソレニ付テ此ノ國民貯蓄運轉委員會ヲドウ云フ形デ運轉サレルノデアルカ、大體ノ御豫定ヲ承ツテ置キタイ

○氏家政府委員 國民貯蓄運轉委員會ノ構成ハ大體會長ヲ地方長官、又地方事務所毎ニ設ケマシタ場合ニハ地方事務所長或ハ市町村長、大都市ノ區長ト云フヤウナ人ヲ以テ充テル、委員ト致シマシテハ關係官廳各種ノ團體ノ長、是ハ其ノ中ニハ町會長ナドモ含メル積リデゴザイマス、ソレカラ貯蓄ノ取扱機關側カラモ出テ貰フ、ソレカラ貯蓄者ノ代表ト云フヤウナ人ニモ出テ貰ヒマスシ、學識經驗者ノ中カラモ出テ貰フト云フヤウニ考ヘテ居リマス、又市町村長ナドモ地方事務所單位ニ設ケタ委員會ニハヤハリ出ルト云フヤウナコトニナララウト思ヒマス、ソコデアリマス所掌事項ノ主ナル事柄ハ國債貯金ノ隣保消化デアルトカ、或ハ地域組合ノ貯蓄デアルトカ、サウ云フヤウナ譯デ貯蓄ヲスルニ當リ割當基準ヲ決メルト云フヤウナコト、ソレカラ目標額ノ配分ヲ年度ノ初メニヤリマスガ、サウ云フ場合ニ配分ニ付テ重要ナ事柄ヲソコデ審議シテ貰フト云フヤウナコト、ソレカラ地域貯蓄ト職域貯蓄トノ調整ノ問題ナドモ起ルコトガアリマスカラ、是等ニ付テモ其ノ意見ヲ聽ク、ソレカラ貯蓄ノ取扱機關ガ競争ヲスルト云フヤウナコトガアリマス、隨分其ノ中ニ常軌ヲ逸スルヤウナ場合ガアリマスカ

ラ、其ノ調整モヤツテ貰フ、又割當テマシタ貯蓄ニ付キマシテ非常ニ當リ得テ居ナイト云フヤウナ場合ニハ、其ノ是正方ノ斡旋モシテ貰フト云フヤウナコトヲ仕事ニシテ貰フ積リデ居リマス

○宮崎委員 次ハ生命保險中央會法案、損害保險中央會法案、此ノ兩案ニ付テ簡單ニ御伺ヒ致シマス、此ノ案ノ中央會ニ對シ政府ハ一方ハ全額ヲ御出シシテ居ル、即チ千五百萬圓ノ出資ノ内千四百五十萬圓ヲ政府ガ出シ、五十萬圓ヲ殘シテ居ラレマスガ、此ノ點ハ生命保險ニ付テ特ニ差ヲ設ケル必要ガアルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラ斯ウ云フ風ナ生命保險ニシテモ、損害保險ニシテモ、政府ガ殆ド全額ヲ御出シシタルト云フコトハ、何カ斯ウ云フ風ナ感じガ私共致シテナラヌノデアリマス、即チ是ハ漸次保險ヲ國營ニスルト云フヤウナ氣持ガ何處カニ潛シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ氣持ガ致スノデス、現在ハ勿論サウ云フコトハ仰シヤツテ居リマセヌガ、何カサウ云フ氣分ガ動イテ居ルノデハナイカト云フ氣持ガ致シマス、此ノ點ニ關シテ大藏大臣ノ御考ヘハドウデアアルカ伺ヒタイと思ヒマス

○石渡國務大臣 先ノ御尋ネハ、如何ニモ千五百萬圓ノ中デ千四百五十萬圓ハ國ニ於テ出資ヲ致スノデアリマス、アトノ五十萬圓ハ今日民間ニ於テ其ノ仕事ヲヤツテ居リマスル協營生命再保險株式會社ト云フモノガゴザイマス、ソレガ五十萬圓ヲ引受ケルコトニ相成ツテ居リマス、是ト一緒ニヤルコトニ相成ルノデアリマスカラ、其ノ協營生命再保險會社ガ五十萬圓出シ、政府ガ千四百五十萬圓出ス、是デ千五百萬圓ノ生命保險中央會ガ出來ル譯デアリマス、生命保險會社ニ致シマシテモ損害保險會社ニ致シマシテモ、段々國營ニスル——政府ハ國營ニバシナイト云ツテ居ルガ、ドウモ此ノ行キ方ガ國營ラシク思ハレルガ、國營ノ感じガ漸次濃厚ニナツテ來ルガト云フ御尋ネデアリマスガ、實ハ生命保險ニ致シマシテモ、損害保險ニ致シマシテモ、今日ノヤウナ時代ニナツテ來マス場合ニ於キマシテハ、是ハ普通ノ所謂算盤ヲ彈キマス生命保險、損害保險ハ到底ヤツテ行ケナイ、斯ウ云フ狀況ニ相成ツテ來テ居ルノデアリマスシテ、ドウシテモ最後ニ國家ガ其ノ保險ノ引受ヲヤルト云フコトデナケレバ難カシク相成ツテ來テ居ルノデアリマス、ソレデアアルカラ斯ウ云フヤウナ中央會ニ於テ國ガ再保險ヲ致シテ、其ノ清算等ヲ中央會ニ於テヤラセシ、斯ウ云フ風ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレデハ左様ナ時代ニ相成ツテ來テ居ルノデアアルナラバ、寧ロ一切ヲ官營ニシテシマツタラ宜イデハナイカ、何故サウ云フコトヲ民間ニヤラシテ置クノダ、斯ウ云フ御議論モアルト思フノデアリマス、ソレモ一ツノ議論デアアルトハ存ジマスケレドモ、併シナガラ今日ノ事態ハ普通ノ事態デアリマセヌ、非常事態デアリマス、此ノ非常事態ニ對應シマサル一時的ノ案トシテ、斯様ナ國家ガ、再保險ヲ致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、今日は等ノ民營保險ヲ集メマシテ官營ニ致スト云フ考ヘノ下ニ斯様ナ法律案ヲ提出致シテ居ル譯デハゴザイマセヌ

○宮崎委員 斯レヨリ仕樣ガナケレバソレデ構ヒマセヌガ、軍需大臣ハオイデニナル譯ニハ行キマセヌカ

○久山委員 軍需大臣モ今丁度生憎塞ガツテ居ルラシイノデス

○宮崎委員 ソレデハ軍需大臣ガオイデニナル時ニ伺ヒマス、或ハ政府ノ方カラ仰シヤルコトガ工合ガ惡ケレバ、私ノ方カラ意見ヲ申上ゲテ質疑ニ代ヘタイト思ヒマス、政府ノ御辨明ヲ要シナイデモ、是非其ノコトヲ申上ゲテ置カネバ國家ノ爲ニ相濟マナイト思ツテ居リマス

○久山委員 承知致シマシタ、ソレデハ中原謹司君

○中原委員 前質問デ大要盡キテ居ルノデアリマスガ、大藏大臣御見エデアリマスカラ御尋ネ致シマス、軍需金融ニ慣レテ、色々ノ事業ニ通ジテ居ルカラサウ云フモノヲ統一スルト云フ御話ガ先程ノ御説明ノ時ニアリマシタガ、此ノ金融操作デアリマスガ、軍需生産者ノ企業團トカ、企業群トカ云フモノヲ統一スル御考ヘガアルノデアリマスカ、先程ノ説明、私聽キ違ヒデアリマスカ

○石渡國務大臣 左様ナ考ヘハ持ツテ居リマセヌ

只今御述べニナリマシタ軍需省ノ方面デアリマスガ、遠藤長官カラ先程實ハ斯ウ云フ回答ヲ得テ居ル譯デアリマス、航空機ノ生産狀況——其ノ内容ヲ申上ゲマスルト、今後ノ見透シ、ソレカラ油ノ問題、「ボーキサイト」ノ問題、是等ニ付テハ臨時軍費豫算總會ニ提出致シマス際ニ、秘密會デト分御説明申上ゲタイト云フ考ヘデ居ルカラ、ソレマデ御待チヲ願ヒマイカト、斯ウ云フ實ハ回答ヲ得テ居ル譯デアリマス

○宮崎委員 ソレヨリ仕樣ガナケレバソレデ構ヒマセヌガ、軍需大臣ハオイデニナル譯ニハ行キマセヌカ

○久山委員 軍需大臣モ今丁度生憎塞ガツテ居ルラシイノデス

○宮崎委員 ソレデハ軍需大臣ガオイデニナル時ニ伺ヒマス、或ハ政府ノ方カラ仰シヤルコトガ工合ガ惡ケレバ、私ノ方カラ意見ヲ申上ゲテ質疑ニ代ヘタイト思ヒマス、政府ノ御辨明ヲ要シナイデモ、是非其ノコトヲ申上ゲテ置カネバ國家ノ爲ニ相濟マナイト思ツテ居リマス

○久山委員 承知致シマシタ、ソレデハ中原謹司君

○中原委員 前質問デ大要盡キテ居ルノデアリマスガ、大藏大臣御見エデアリマスカラ御尋ネ致シマス、軍需金融ニ慣レテ、色々ノ事業ニ通ジテ居ルカラサウ云フモノヲ統一スルト云フ御話ガ先程ノ御説明ノ時ニアリマシタガ、此ノ金融操作デアリマスガ、軍需生産者ノ企業團トカ、企業群トカ云フモノヲ統一スル御考ヘガアルノデアリマスカ、先程ノ説明、私聽キ違ヒデアリマスカ

○石渡國務大臣 左様ナ考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○中原委員 是ハ私共餘リ詳シクアリマセヌシ、事情ニ通ジマセヌカラ、事例ヲ擧ゲテ色々申ス程ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌガ、銀行金融業者ノ考ヘハ極メテ手堅クヤラウト云フノデアリマス、企業者ノ方ハ相當危險ヲ冒シテデモヤラウト云フ氣分デ、兩者ハ凡ソ一致シナイモノガ多イデアリマス、殊ニ生産増強ヲ言ハレテ居ル際ニハ、相當企業者側デモ軍需生産ニ從事シテ居ル者ハ、自分ノ責任額ヲ果ス上カラモ、モット餘分ニ生産ヲ増強スル上カラモ、相當奇抜ナ、或ハ一寸見ルト法外ノヤウナ仕事モシナケレバナラス、隨テ資金ノ要求ガアルト思ヒマスガ、サウ云フ際ニハ是アルガ故ニ圓滑ニ且ツ效率的ニ使用スルコトガ出来ナイト云フヤウナコトハナイカ、増産ニ付テハ金融會社カラ稍 拘束サレル虞ガアルノデアリカト思フノデアリマスガ、サウ云フ懸念ハナイノデアリマスガ、政府ニ申出レバ政府ガ裁斷スルト云フ譯デアリマスガ、機微ヲ要スル點ナド銀行ノ方カラ色々言ハレテ、兩方ノ意見ガ纏ラヌカラ政府ニ申上ゲテト云フコトニナルト、折角ノ増産ノ機ヲ逸スル虞ナシトシナイデアリマセウカ、又サウ云フ虞アリトスレバ、ソレニ對シテハ法ノ運用デサウ云フ風ニ間誤ツカセナイヤウニスル御用意ガアルカドウカ、サウ云フ點ニ付テ伺ヒマス

○石渡國務大臣 御尤モナ御尋ネデアリマシテ、從來生産業者ガ仕事ヲスルト云フ場合ニ、ドウモ銀行ガ之ヲ抑ヘテ生産業者ト銀行業者トノ間ニ相當ナ混雜ノアリマシタコトハ御尋ネノ通りデアリマス、又一方ハ仕事ヲシタイ、一方ハ安全性カラ考ヘル、斯ウ云フ傾キノアリマスコトモ御述ベニナツタ通り

デアルト存ジマス、併シ大東亞戰爭以來全國ノ金融統一ト云フモノハ大體ニ於テ今日完成致サレテ居ルノデアリマシテ、何千トアリマシタ銀行モ極メテ少イ銀行ニ取纏メラレテ今日ニ至ツテ居ル、一方軍需會社ガ出来、サウシテ其ノ軍需會社ニ對スル金融機關ノ指定致シマシテ、今日大體軍需會社ノ必要トスル所ノ資金ト云フモノハ、其ノ指定サレタ金融機關カラ資金ヲ融通シテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、或ハ政府ノ前渡金ニ依リ、又ハ此ノ金融機關ノ金融ニ依ツテ、此ノ大キナ資金ノ需要ト云フモノモ何等ノ支障ナク運行致サレツ、アルノデアリマス、併シナガラ其ノ結果ハドウ云フコトニ相成ツテ来テ居ルカト言ヘバ、一面ニ於テ資金流通ノ増加ト云フコトニ相成ツテ来テ居ル、又預金ノ増勢ガ之ニ伴ヒマセヌデ、隨テ日本銀行カラノ借入金ノ増加、即チ銀行ガ自分ノ預金デ公債ヲ買ヒ、其ノ上ニ此ノ軍需會社ノ資金ヲ賄フデケノ預金ガ十分ニ集マリマセヌデ、已ムヲ得ズ日本銀行カラ金ヲ借りテモ融通シテ居ルト云フヤウナ、ソレモ少カラザル金ヲ借りテ融通致シテ居ルト云フヤウナコトガ現下ノ狀況デアリマス、實ハ此ノ金ノ問題ト云フモノハ中々難カシイ問題デアリマシテ、トモスレバ行き過ギルノデアリマス、緊メル場合ニハ緊メ過ギル、出ス場合ニハ出シ過ギル、丁度水ノ流レノヤウナモノデアリマスノデ、少シ餘計ダナト思ツテ居ル間ニダダツト餘計ニ相成ツテ来ル、緊メルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ緊メ過ギルト云フヤウナコトデ、是ハ從來ノ結果ニ見テモ御存ジノ通りデアリマス、此ノ法律ハ其ノ水ヲ適當ニ必要トスル

所ニ廻シテ、餘ツテ居ル方ニハ出來ルダケ其ノ金ヲ廻シモシナイシ、又返シテモ欲シイ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、先程來御話ガアリマスヤウナ資金ノ増加著シキモノガアリマシテ、其ノ資金融通ノ増加ノ著シキ原因ガドウカラ来テ居ルカ、一ツハ豫算ノ執行デアルト思フノデアリマス、イマ一ツハ産業ニ必要トスル金ノ増加デアルト思フノデアリマス、何レモソレガ通貨膨脹ノ一原因ニナツテ居ルコトハ爭ハレナイノデアリマスガ、一箇年ニ必要トスル産業資金ト云フモノヲ幾ラニ見テ居ルカト云ヘバ、一箇年ニ六十億位ノ程度デ此ノ三、四年來テ居ルノデアリマスガ、是ガ一箇年六十億デ済マナイ、更ニ餘程ノ金ガ出テ行クモノデアリマスカラ今日ノ通貨膨脹ノ一原因ヲナシテ来テ居ルノダト思フノデアリマス、勿論金ヲ出シテ、ソレガ軍需生産ノ増産ニ相成ル限リニ於キマシテハ金ハ幾ラデモ出シマス、併シナガラ金ヲ出シ過ギテ金ガダブツイテ來タガ爲ニ、却ツテ軍需生産ヲ妨ゲルト云フコトモ、或ル一部ニハ今日起ツテ居ルコトハ否メナイト思フノデアリマシテ、サル方面ニ於キマシテハ金ヲ寧ろ緊メルト云フコトガ軍需生産ノ増産ヲ促進スル所以デアルト思フノデアリマス、今日ノ事態ニ於テ軍需生産ヲ妨ゲルコトハ如何ナル事由カラ考ヘテモ絕對ニ惡イコトデアリマスカラ、金ガ少過ギテモイカズ多過ギテモイカズ、軍需生産ノ效率ヲ最モ良クシテ行クニハドウスルカト云フコトヲ考ヘマシタノガ實ハ此ノ法律デアリマスカラ、今アナタノ仰セニナツタヤウナ金ヲ緊メテ軍需生産ニ妨ゲノアルヤウナコトハ絕對ニ致サシマセヌ、左様ナ決心ノ

下ニ此ノ法律ヲ運行シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○中原委員 能ク御話ハ分リマス、出シ過ギテモイカズ、出サナ過ギテモイカズノデアリマスガ、サウシマストサウ云フ調節ヲナサルノニマダ此ノ措置法案ダケハ十分デナイト思フコトガ一ツト、モウ一ツハ生産資金ガ此ノ三、四年來相當額入ツテ居ルノデ、軍需業者、生産業者ノ資金ヨリモ政府ノ方デ御出シニナツタ金、或ハ銀行ノ方カラ融通シタ金ノ方ガ相當多額ニナツテ居ルヤウニモ思フノデアリマス、昨日、一昨日アタリカラノ豫算總會ノ趨勢ヲ新聞ナドデ見マス、軍需産業ノ國家管理、或ハ勤勞者ヲ軍需ニスルトカ軍人ニスルトカ云フヤウナ質問、意見ニ對シテ、政府ノ方デモ稍、ソレヲ肯定スルヤウナ御返事ガアツタヤウニ思フノデアリマスガ、サウスルト一寸受ケル感ジデハ、軍需産業ノ國家管理ニ行ク前提トシテ今度ハ斯ウ云フヤウナ案ガ出タノデアリカト云フ感ジヲ受ケサセラレルノデアリマス、私ハソレガ惡イト申スノデアリマス、サウ云フ趨勢ナラバソレデ宜シイノデアリマスガ、サウ云フヤウナ御心持ガアルノデアリマセウカ、例ヘバ第何條デアリマシタカ、政府ハ資金ノ融通ニ依ル收入金ノ一部ヲ積立ツルコトヲ命ズルコトヲ得ル、ソシテ政府ハ大東亞戰爭ノ終了後其ノ積立金ノ一部ヲ政府ニ納付スルコトヲ命ジ得ルト云フヤウナ點カラ申シマシテモ、何トナクコ、デ國家ガモウ少シ突込シテ管理スル必要ガアル、ソレニ對シテハヤハリ積立金ハソレノ當然ノ結果デアリマセヌガ、或ル場合ニハサウ云フ積立金デナシニ、モウ少シ國家ノ方デ斯ウ云フモノヲ融通シ

タモノニ對シテハ反對給付——何ト申シマスカ金融業者ダケニ任シテ置ケナイ、相當ノ反對給付ハ政府ノ方デモ收納スルノガ至當デアリカト云フヤウナ御考ヘモ之ニアルカト思フノデアリマスガ、軍需生産業ノ國家管理、ソレニ對スル資金管理ヲシタイト云フヤウナ御考ヘガ政府ノ方デハアルノデアリマスガ、サウ云フコトハ全然ナイノデアリマスガ

○石渡國務大臣 本案ハ軍需會社ノ實體ニ觸レルコトハ一ツモゴザイマセヌ、隨テ只今御尋ネノヤウナ點ニ觸レル事項ハ一箇條モゴザイマセヌ、唯今アナタノ御擧ゲニナツタ積立金ノ問題、ソレカラ其ノ積立金ヲ政府ニ納付スル問題、ソレカラ政府ガ役員ヲ此ノ金融機關ニ置イテオクコトヲ不適當ト認メマシタ場合ニ解職スル權限、其ノ他二、三事項モゴザイマセヌガ、斯様ナ規定ヨリ致シマシテ、此ノ軍需金融機關ト云フモノガ著シク國家性ヲ帶ビテ來マシタコトハ事實デアリマシテ、此ノ法律ニ依ツテ此ノ軍需金融機關ノ國家性ガ前進シタ、更ニ進シタト云フコトハ是ハ事實デアルト存ジマスシ、又其ノ範圍ニ於テアナタノ仰シヤツタコトヲ肯定致ス次第デアリマス

○中原委員 大臣ニ對スル質問ダケハ是デ終リマス、次ニ生命保險ノ損害保險ノ點ヲ伺ヒマス、業務ノ點デ、第九條第三號ノ「標準下體生命保險ノ引受及第一號ニ掲グルモノヲ除クノ外標準下體生命保險ノ再保險ノ引受」、此ノ條項ヲモツト詳シク説明シテ戴キタイ、ソレカラ十九條ノ末項デアリマス、「前項第一號ノ再保險ノ引受ヲ爲ス金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」此ノ命令ガドウ云フ内容デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒ

○赤間委員 ソレデハ貸付ケマシタ軍需會社ニ付テ、貸付ノ目的ヲナシ遂ゲテ居ナイヤウナ會社ガ絶無デアルカ、又サウ云フモノガアルト云フコトガ御分リナリマセウカ

○赤間委員 ソレハ原則トシテ各重役ノ連帶保證ヲ要求スベキデナイカト思フノデアリマス、國家ノ貴重ナ資金ヲオ借リシテ、ソレヲ經營シテ居ル重役ガ個人的ノ責任ヲ持タヌト云フコトハ、私甚ダ申譯ナイト思ヒマス、又ソレダケノ自信ヲ持ツテ可ナリト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ政府ハ原則的ニドウ云フ御考ヘテ御持チデアリマスカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○赤間委員 サウ致シマス、今マデ御貸付ニナリマシタ中デ、相當目的ニ副ハナイモノガアルト思召シナリマスカ、ドウデスカ、又貸付ケマシタ金ノ回收ノ成績ト申シマス、サウ云フヤウナモノモドウ云フ工合ニ御覽ニナツテ居ルカ、一應伺ヒタイト思ヒマスカ

○赤間委員 數多クノ貸出金ノ中ニハ其ノ貸出金ガ全ク無駄ニナツテシマツタモノモ必ズシモ少クハナイヤウニ存ジマス、併シ全體のニ考ヘマスレバ、是ハ決シテ心配シナケレバナリナイ程大キナ「パーセンテージ」ハ今日マデノ所ハ示シテ居ナイヤウニ存ジマス、尙ホ貸出金ノ回收ニ付キマシテハ、大體今日マデノ所ハ極メテ良好デゴザイマシテ、滞リ貸ニナツテシマツテ居ルノハ勿論アルコトハアリマスガ、是レ亦心配スベキ程度ノモノデハゴザイマセウ

○赤間委員 此ノ貸付ニ對シマシテハ擔保ハ無論設定サレテ居リマスガ、其ノ會社ノ重役ノ個人保證ト云フモノガアルノデアリマス、ナイノデアリマスカ、御尋ネ致シタイト思ヒマス

○赤間委員 場合ニ依リマシテハ當該會社ノ重役ノ個人保證ヲ求メテ居ル貸付モアルト思ヒマス

○赤間委員 ソレハ原則トシテ各重役ノ連帶保證ヲ要求スベキデナイカト思フノデアリマス、國家ノ貴重ナ資金ヲオ借リシテ、ソレヲ經營シテ居ル重役ガ個人的ノ責任ヲ持タヌト云フコトハ、私甚ダ申譯ナイト思ヒマス、又ソレダケノ自信ヲ持ツテ可ナリト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ政府ハ原則的ニドウ云フ御考ヘテ御持チデアリマスカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○赤間委員 若干私ノ私見ニ互ルカモ知レマセウガ、御許シテ願ヒマス、只今ノ狀態ニ於キマシテ、事業體ガ金ヲ借りテ色々ナ事業ヲ營ミマス場合ニ於キマシテ、其ノ事業ガ必ズシモ重役ノ方々ノ自分ノ意思カラ出テ居ル、假ニ絕對自分ノ責任ニ於テ申シマス、自分ノ危險負擔ニ於テラバヤリタナイト云フヤウナモノデモ、時局ノ要請或ハ生産擔當方面ノ要求カラ、是ガ非デモヤラセバナラヌト云フヤウナモノモアルノデアリマシテ、サウ云フモノニ對シテモ金融機關ハ資金ヲ融通致シ當該重役ノ個人保證ヲ原則トシテ付ケサセルト云フコトニナリマスノハ、稍、當リ得ナイコトデハナイカト私ハ考ヘマス、隨ヒマシテ總テノ貸出ニ付テ原則トシテ重役ノ個人保證ヲ付ケヨト云フ御意見ニハ、尙ホ大ニ檢討スベキ餘地ガアルノデヤナイカト存ジテ居リマス

○赤間委員 ソレハ能ク分リマスガ、サウ致シマス、議論ガマシイヤウデゴザイマスケレドモ、國家ノ要請ニ依ツテ企業サセル場合ニハ、其ノ企業ノ形態ヲ別途ニ考ヘテ、ソレガ爲ニ一般

ノ經營シテ居リマス軍需會社ノ貸付ニ對シテ個人ノ連帶保證ヲ看過スルコトハ宜シクナイデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、御考ヘハ如何デアリマス

○赤間委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、先程申シマシタ通り私ノ個人的ノ意見ヲ申上ゲテ次第デゴザイマスカ、實ハ御話ノゴザイマセマデ篤考ヘタ所デハゴザイマセマ、隨ヒマシテ尙ホ能ク勉強ヲ致シテ見タイト存ジマス

○赤間委員 一寸伺ヒマスガ、本法案ハ二ツノ目的ヲ持ツテ居ル、金融ノ圓滑ソレカラ資金ノ効率ノ使用ヲ促進スル、資金ノ能率ハ此ノ法案ニ於テドウ云フ風ニ圖ツテ行ク積リデアリマセウカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○小笠原政府委員 御答辯申上ゲマス、今度ハ御承知ノ如ク此ノ軍需金融機關ガソレノ軍需會社ニ對シテ專屬的ニヤツテ參ルコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ經理內容等ニ付テモ、之ヲハツキリ承知スルコトガ出來マスシ、又從來デゴザイマス、例ヘバ或ル軍需會社ハ或ル金融機關カラ金ヲ借りテ居リナガラ、他ノ方ニ又之ヲ預金シテ居ルト云フコトモアリ得タノデゴザイマスカ、今回ハ此ノ預金等モ一ツノ銀行ニ集中スルコト云フヤウナ建前ニ相成ツテ居リマス、是ハ星サン能ク御承知デセウガ、一方デ澤山金ヲ借りテ置ク、又一方デハソレヲ預金シテ置ク云フ時ノ準備ニ充テル、其ノコトガ非常ニ資金ノ効率ノ點ヲ阻害シテ居ル部面ガ少クゴザイマセマ、尙ホ他ニモアルト存ジマスガ、左様ナ點ガ主ナル狙ヒニ相成ツテ居リマス

○星委員 結局此ノ法案ハ勝ツ爲ニ多量ニ生産シヨウト云フコトデアラウト

思ヒマスガ、サウスルト金ノミデ此ノ目的ガ達セラレルト思ツテ居ルノデゴザイマセウカ、金ヲ一方カラ借りテ片方ニ預ケテ置クナラバ是ハ惡イコトデ是正シナケレバナラヌガ、ソレヲ是正シタダケデ、ソレデ此ノ法案ノ本來ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルトオ思ヒデアリマセウカ

○小笠原政府委員 大藏省關係ノ金融方面カラ見マス、資金ノ効率化ハ是ハ軍需會社ノ資金ノ必要ニ應ジテ、而モ其ノ必要ナルモノハ悉ク之ヲ賄フ、圓滑適正ニ適宜之ヲ供給スルコト云フヤウナ建前ヲ執ツテ居リ、又其ノ間毫末モ無駄ノナイコトヲ期シテ居ルノデアリマスガ、併シ今日ノ軍需増産ガ單ニ金融部門ノミデ行カヌコトハハ明瞭デアリマス、併シソレハ私共大藏省ノ金融部門カラノミノ力デハ及バヌ點デアリマス、唯軍需金融ヲ措置スル方法トシテハ是ガ最モ效果ヲ擧ゲルモノナリト云フ確信ノ下ニ此ノ法案ヲ提案シタ次第デアリマス

○星委員 金ノミデハ物ハ出來ナイト思ヒマス、ドウシテモ金以外ニ必要ナモノガアルノデアリマス、ソレヲ今忘レテ居ルト云フコトガ總テノ増産ニ於テ行詰ツテ居ル所以ト思ヒマス、併シ今御話ノヤウニ、大藏省ハ金以外ニハ及ビ兼ネルト言ヒマスケレドモ、此ノ金融ニ對シテ或ル條件ヲ付ケルコトガ出來ヨウト思ヒマス、ソレハ發明トカ研究トカニドレダケノ金ヲ使ヘ、斯ウ云フコトモ私ハ言ヘルト思フノデアリマス、ドウシテモ今日ハ物ガ少イ、鐵ノ例ヲ言フ「アメリカ」ノ何十分ノ一カ分リマセマ、其ノ何十分ノ一ヲ以テ、ソレデ「アメリカ」ト同ジ形體ノ物ヲ競争デ造ラウトシテモソレハ出來難

イコトデアリマスルカラ、若シ飛行機ヲ造ルノニ五「トン」ノ金屬ガ要スルモノナラバ、吾々ハソレヲ其ノ十分ノ一或ハ二十分ノ一ノ金屬ヲ以テ敵ヲ撃滅スルコトモ、撃沈スルコトモ出來ルモノヲ造ルト云フコトガ必要デアラウト私ハ思フノデアリマス、茲ニ資金ノ效率ノ使用トアリマスガ、唯金ダケハ私ハドウシテモ資金ノ効率化ハ得ラレヌト思ヒマス、之ニハ發明、改良ト云フコトガ伴ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレデ私ハユソナ大キナ金ヲ融通スルナラバ、是ノ圓滑ヲ圖ルナラバ、其ノ幾「パーセント」ノ金デ以テ發明ノ募集、技術者ノ國民的總動員ヲスルト云フコトガ必要デナイカト思フノデゴザイマスガ、ソレガ爲ニハ少クトモ十億、二十億ト云フ金ヲ出シテ使フト云フコトヲ、此ノ法案ノ上ニ私ハ表ハス方ガ至當デハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小笠原政府委員 現在ノ物資、勞務等ノ狀況カラ見テ、特ニ物資狀況等ヨリ見テ、發明等ニ重キヲ置クコトハ是ハ申サマデモナイト存ジマス、内閣所管ノ方ニ科學振興其ノ他サウ云フヤウナ費用數千萬圓ガ計上シテゴザイマス、但シ今星サンノ仰シヤツタコトハ少シ違フカ知レマセマ、發明ノ顯彰ニ五億出ス、十億出スト云フ斯ウ云フ建前ニナツテ居ラスカ知レマセマケレドモ、科學振興及ビ今ノ發明等ノ指導獎勵ヲスル措置ガ講ゼラレテ居リマス、但シ此ノ軍需金融ノ狙ツテ居ル所ハ、現實ナ、殊ニ軍需金融機關ト軍需會社トヲ結付ケル、所謂車ノ兩輪トシテ一體化スルト云フコトヲ主トシテ狙ツテ居ルノデアリマス、併シ御話ノ如ク、例

へバ勞務管理ニモ尙ホ改善ヲ加ヘナケ
レバ、資金ノ効率化モ期待シ難イデア
リマセウシ、又物資問題ニ付テモ、之
ヲ少クテモ濟ムト云フヤウナ改良ヲ加
ヘルデナケレバ資金ノ効率化モ少イト
存ジマス、隨テ各種ノ軍需會社ニ於テ、
現ニ御承知ノ如クソレハ、自分ノ所デ
サウ云フコトヲヤツテ居リマスガ、サ
ウ云フコトニ金ヲ必要トスル場合ニ、
是ハドウモ資金効率ヲ阻害スルモノナ
リト云ツタヤウナ、左様ナ考ヘ方ハ持
ツテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ居ル
ノデアリマス

○星委員 世界中何處ヘ行ツテモ、サ
ウ云フ工業會社、製造會社ニ於テハ、
發明ノ費用トシマシテ、年々使フ金ノ
何「パーセント」ト云フモノヲ見込
居ルノデアリマス、又ソレヲ澤山見込
ンデ有效ニ使フ所ニ大キナ發明ガアル
ノデアリマス、政府ハ今コ、ニ何百億
ト云フ金ヲ使フノデアアルカラ、其ノ中
ノ何「パーセント」ヲ發明ナリ改良ナリ
ニ使フト云フコトノ計畫ヲ立テテ、其
ノ金ヲ別途ニシテ、政府ガ全國ノ學者
技術者ヲ總動員シテ使ハナイデ來タト
云フコトハ、私ハ今日ノ誤リト思ヒマ
スカラ、是ハ一ツ誤々モ此ノ金ヲ、資金
ヲ效率的ニ使用スルト云フ文字ノ上カ
ラシテ、大藏省ニ篤ト考ヘテ貰ヒタイ
ト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツ伺ヒタイト思ヒマ
スノハ、此ノ法令ヲ以テ定メラレタ者
ヲ事業者ト稱シマスガ、此ノ事業者ニ
對シテ、資金ノ効率的使用ヲ果サナカ
ツタ場合ニ茲ニ刑罰ト云フモノガアル
ノデアリマス、別ノ法律デ生産責任者
ト云フモノガアリマスケレドモ、未
ダ會テ生産責任者ガ問題ニナツタト云
フコトハ新聞ニ於テモ私見マセス、生

産ガ足ラヌカラ彼ヲ六ヶ月間刑務所ニ
叩キ込メシテ云フヤウナコトモナケレ
バ何ニモアリマセヌ、唯生産責任者ト
云フ文字ニ表ハシタダケデ、本當ニ之
ヲ刑罰ニ處シテ、體刑ニマデ處シタ者
ハナイノデアリマス、茲ニ事業者ト云
フ者ガアツテ、其ノ事業者ハ公務ニ從
事スル職員ト看做ストアリマスガ、斯
ウ云フ者ニ對シテナゼ其ノ責任ヲ茲ニ
規定シ、ナイノデアリマセウカ、之ヲ一
ツ伺ヒタイノデアリマス

○小笠原政府委員 星サンノ前段ノコ
トニ付キマシテハ、此ノ關係ハ軍需金
融機關ト軍需會社トノ關係デゴザイマシ
テ、國家ノ財政支出デハゴザイマセヌ、
隨ヒマシテ國ガ財政支出ヲ致シマスル
コトニ付テ、例ヘバ大キナ發明等ニ對
シテ大キナ金ヲ出セト云フコトデアリ
マスレバ、是ハ私共モ洵ニ時局ニ鑑ミ
テ御尤モト存ジマスルガ、本法ハ軍需
金融機關ガ所謂事業資金ヲ貸出ス、足
ラヌ場合ニハ國家ハ之ヲ援助スル場合
モゴザイマスルケレドモ、國ノ財政資
金デハゴザイマセヌノデ、ドウカ其ノ
點ハソレデ御諒願ヒタイト存ジマス

次ノ御話ノ點ニ付キマシテハ、賞罰
嚴明デナケレバナラヌコトハ申スマデ
モゴザイマセヌ、此ノ法律ノ中今仰セ
ニナリマシタ事業者ト申シマスルノハ
軍需會社デアリマシテ、是ハ軍需會社
法ニ基イテソレハ、罰則ノ規定ガアリ
マス譯デ、本法ニハ何等ノ之ニ對スル
設ケハゴザイマセヌ、但シ事業者ニ資
金ヲ供給スル軍需金融機關ノ當事者ニ
對シテハドウカ、圓滑ニ資金ヲ供給シ
ナカッタデハナイカ、ソレガ爲ニ生産
ノ増強ガ出來ナカッタト云フヤウナ場
合ニハドウカ、斯ウ云フコトニ付キマ
シテハ是ハ罰則ハゴザイマセヌケレド

モ、道義的ニ見ルナラ罰則以上トモ見
ルベキ——其ノ使命ヲ果サナイ時ニハ
解任シ得ル、斯様ナコトニナツテ居リ
マスノデ、是等ヲ適切ニ運用致シマス
レバ所期ノ目的ヲ達成シ得ルコトト信
ジテ居ルノデアリマス

○星委員 今御説明ノ前ノ分デアリマス
ガ、モウ少シ大藏省ニ一ツ踏シ張ツテ貰
ヒタイト思フ、一體大藏省ガ金ヲ出ス、
其ノ金ガ有效ニ使ハレルカドウカト云
フコトハ大藏省ノ責任ダト思フ、大藏
省ハ唯要求ニ依ツテ金ヲ出セバ宜イト
云フ、ソナ考ヘデハナカラウ、ソレ
デハ大藏省ハ日本ノ財政ヲ背負ツテ立
ツテ行クコトハ出來ナイト思フ、唯金
ヲ出セバ宜イ、ソナコトデハイケマセ
ヌ、例ヘバ興業銀行ニ一ツ行ツテ見テ
御覽ナサイ、是ガ果シテ興業銀行ノ理
事カト思フヤウナ者ハ一人モ居リマセ
ヌ、彼處ニ多クノ技術者ヲ集メ、澤山
ナ給料ヲ拂ツテ、而モソレ等ノ人ニ依
ツテ能ク事業家ニ協力シテ居ルカ、シ
テ居リマセヌ、唯金ヲ出スダケ、緣故
緣引デ早ク出スト云フダケデス、唯金
サヘ出セバ物ガ出來ルナドト思フコト
ハ絕對間違ヒデス、大藏省ハ今マデノ
ヤウナ考ヘヲ全然改メテ、大藏省ハ俺
一人デ物ヲ作ルノダト云フヤウナ抱負
ヲ持ツテ戴キタイコトヲ吳々モ希望シ
マス、今眼ノ前ニ發明發見ハ必要デア
リマスカラ、之ニ大キナ金ヲ出スコト
ヲ一ツ御願ヒシマス、勝ッ爲デアリマ
スカラ御願ヒシマス

○小笠原政府委員 大藏省ノ官制ガ左
様ニ相成ツテ居ラヌコトニ付テハ洵ニ
遺憾デゴザイマス、但シ星サンノ熱意
ヲ籠メテ仰セラレタコトハ能ク承リマ
シテ、凡ユル機會ニ是ガ具現ヲ私共切
望シテ已マヌ次第デゴザイマス

○久山委員長 本日ハ此ノ程度デ散會
致シマス、次會ハ明日ノ午後一時ノ豫
定デアリマスガ、尙ホ詳細ハ公報ヲ以
テ御通知申上ゲマス
午後二時五十六分散會

昭和二十年一月二十八日印刷

昭和二十年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局